

<b>令和4年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録</b>	
日 時	令和4年11月18日(金) 10:00~11:40
開催場所	市庁舎本館4階 全員協議会室
出席者	審議会委員：広城会長、斧田委員、釘崎委員、田口委員、高原委員 以上5名 上下水道局：松竹上下水道局長、松岡企業総務課長、今田料金施設課長、 川畑上下水道工務課長、他8名(係長、担当)以上12名
欠席者	審議会委員：鳥居副会長、小原委員 以上2名
傍聴者	なし
議 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度大野城市上下水道事業会計決算について</li> <li>・ 令和4年度大野城市上下水道事業会計予算について (資料①~⑥)</li> <li>・ 第3次中期経営計画主要事業管理一覧表(R1~R5)について (資料⑦、⑧)</li> </ul>
資 料	<p>次第 委員名簿</p> <p>【資料①】 令和3年度大野城市水道事業会計決算の概要 【資料①-2】 令和4年度大野城市水道事業会計予算の概要 【資料②】 令和3年度大野城市下水道事業会計決算の概要 【資料②-2】 令和4年度大野城市下水道事業会計決算の概要 【資料③】 令和3年度水道事業決算書 【資料④】 令和3年度下水道事業決算書 【資料⑤】 令和4年度水道事業予算書 【資料⑥】 令和4年度下水道事業予算書 【資料⑦】 第3次中期経営計画主要事業管理一覧表 【資料⑧】 第4次中期経営計画の策定について</p>

議 事	<p>◇令和4年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 事務局職員紹介</p> <p><b>【議事】</b></p> <p>3. 令和3年度大野城市上下水道事業会計決算について</p> <p>4. 令和4年度大野城市上下水道事業会計予算について (資料①～⑥)</p> <p>議事4及び5について一括して、まずは水道事業を説明。</p> <p>○質疑</p> <p>(委員) 資料①の表1について。前年度比較の欄で、行政区域内人口は534人増加している一方、給水戸数は625戸増加しています。534人すべてが単身者だったとしても、534戸の増となるのではと思いましたが、これはどのように考えたらよいのでしょうか。</p> <p>(市) 人口の増減については、2人で住まれていたところが1人亡くなるなど、増減の要素がすべて転出とは限りません。また転出入においても、転出と転入で同じ人数が出入りするわけではありませんので、人口増の分が全部戸数で上がってくることにはなりません。</p> <p>(委員) 加入金について。令和3年度は集合共同住宅等がかなり増えたということですが、令和4年度はもう集合共同住宅等の増加はないということでしょうか。</p> <p>(市) 令和2年度、3年度も結果的に予算よりも多く入ってきており、4年度についても現在のところ予算を上回る歳入があります。</p> <p>(委員) 企業債について。潤沢に資金もあるので、新たに借り入れることなく返済を優先していたようですが、今期は新たな企業債を発行する予定ですか。</p> <p>(市) 令和4年度については、加入金も予算よりも多く入ってきていますし、内部留保資金を活用しながら運営を行っていき、新たな借り入れは行わない予定です。</p> <p>ただし、令和5年度以降は、水道施設の再編事業が本格化していくので、資本費の施設整備費の増が見込まれており、借り入れを行わなければならないと考えています。</p> <p>(委員) 企業債利息は減少していますが、その要因は何ですか。</p> <p>(市) 企業債は元利均等で借りています。そのため、返済の後年度になってきたので返済金額のうち、利息が少なくなり、元金が多くなっています。また、昨年度に新規借り入れを行わなかったことも減少の要因です。</p>
-----	---

続いて下水道事業を説明。

○質疑

(委員) 一般会計繰入金について、今までは収益的収支と資本的収支に分けていたものを、今回はすべて資本的収支にしたのはなぜですか。

(市) 雨水に要する経費について、今までは元利償還ベースで繰り入れを行っていたため、元金分は資本費の方に、利息分の方は収益的収支の方に繰入を行っていました。今回減価償却ベースに見直しを行ったため、すべて収益的収支に繰り入れを行っています。

一般的には他の自治体でも減価償却ベースで繰り入れを行っていないので、今回、減価償却ベースに変更したものです。

(委員) コロナ禍における物価高騰等に直面する支援策として、下水道使用料基本料金の免除を実施されますが、その点について聞かせてください。

(市) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業として、9月分から2月分までの半年間、下水道料金の減免を行います。

減免相当額については、一般会計が国から交付金を受け入れ、上下水道局は一般会計から補助金として受け入れることになります。市民の負担は軽減しつつ、必要な収入はしっかり確保できるよう、取り組んでいます。

(委員) 資料について。一般市民が見ても分かりやすいようにしてもらえると良いと思います。様々な指標がありますが、「この指標は上がってれば良い」、「この項目は下がってれば良い」など、目指すべき方向を付け加えて表記すると、一般市民にも分かりやすいと思います。

(市) 資料の作り方については検討します。

## 5. 第3次中期経営計画主要事業管理一覧表(R1~R5)について

### (資料⑦)

各主要施策22項目について、令和3年度実績、令和4年度事業計画を主要施策の順番に担当係長が説明

○質疑

(委員) 災害時の機能維持について。令和3年度の実績が3.41 km、令和4年度の計画は3.95 kmとありますが、この計画で令和5年度に最終目標の4.55 kmに到達するのでしょうか。

(市) 老朽化した塩化ビニル管の更新を主な更新対象としていますが、令和3年度は計画に対して70mの減となりました。老朽管の更新には、上下水道局が主体のものと道路改良などの他事業に併せたものの2種類があります。今回は道路舗装の打ち換えの変更に伴いまして、その区間で更

新が減となりました。目標値の2%減ではありますが、令和4年度と令和5年度の2ヶ年で、取り戻せる範疇であると認識しています。

(委員) 水洗化の促進について。未接続建物数の現状が195棟に対して、目標値が132棟とありますが、水洗化するにはそれなりに費用がかかります。したくても出来ないという人が多いと思うので、そこまで減らすというのは難しいのではないのでしょうか。

(市) 水洗化する意思はあるが、費用の面でなかなか難しいという方が多くいらっしゃいます。なお、目標を立てた時点の現状値195棟に対して、目標値132棟という数値でしたが、令和3年度の実績時点で、すでに128棟にまで減少しています。これは水洗化出来ない建物や古い建物が多く、建替えなどが進んだことで減少している状況です。

(委員) 污水施設の耐震化事業について。簡易診断で行う予定だったが詳細診断が必要になったと記載がありますが、簡易診断は実施済みなのではないでしょうか。

(市) 簡易診断は令和3年度に実施予定でしたが、見送っている状況です。簡易診断の結果で方針を決定するのではなく、詳細診断の必要性の検討を含めた耐震化方針を、今年度中に決定する予定です。

(委員) 事業場排水の指導について。閉塞事故を起こすような事業所とは、どういうところが多いのでしょうか。

(市) 近年では、油脂が固まって配管が詰まってしまう事例が多く、飲食店関係が多いです。

(委員) 雨水整備事業について。最近豪雨で1日の総降水量500mmということもある。1時間当たり60mmの降雨量が3時間継続するような場合はどのように考えているのでしょうか。

(市) 現状の計画降雨の考え方として1時間あたり60mmが3時間継続することは想定していません。

(委員) ICTの活用によるサービスの向上について。電子マネーやスマホアプリを導入していますが、利用者は増えていますか。また収納率が上がったか、業務が軽減されたりなどの効果は出ていますか。

(市) スマホ収納の利用者は増えており、中でも一番多いのは「PayPay」です。現在は年あたり数千件に増えています。今まで納付書を使って納めていた方が電子マネーなどに移行しているようです。手軽に支払いできることから収納率の向上に繋がっています。

(委員) 人材育成について。対象は上下水道局の職員だけでしょうか。災害時には、上下水道局の職員だけでは対応しきれないことも想定できます。他部署との人材交流などはないのでしょうか。

(市) この研修については、あくまでも上下水道局の中で知識の向上を目的に実施するものです。また、上下水道局の職員は上下水道局専任で雇用されているわけではなく、市長部局からの出向という形で配置されています。上下水道局で経験を積んで、現在は他の部署にいる職員もいるので、必要な時には応援を要請することも可能だと考えています。

(委員) 水道事業 50 周年の時に、大野城市 PR キャラクター「大野ジョー」が載ったマンホールを制作して、今 1 箇所だけありますが、マンホールカードと併せて、他自治体から見に来られる方も多いと思います。他にも制作されたらいいのではと思いますが、いかがですか。

(市) ご質問のマンホールは「大野城心のふるさと館」の開館記念として平成 30 年に設置しました。マンホールカードも配付し始めて 5 年ほど経ちますが、全都道府県からお越しいただいております。現段階では、増設の予定はありませんが、今後の状況を踏まえて検討していきたいと思えます。

## 【その他】

### 6. その他

#### (資料⑧)

事務連絡について説明。

### 7. 閉 会

松竹上下水道局長より閉会のあいさつ。

以 上